

# 正の数・負の数の計算第13回 学習プリント No1

年 組 番 氏名( )

復習

加法については、どんな正の数の場合にも、

$$2 + 3 = 3 + 2 \quad (2 + 3) + 4 = 2 + (3 + 4)$$

のように

$$a+b=b+a \quad (a+b)+c=a+(b+c)$$

( ) ( )

が成り立つことを知っています。

※これらの法則は、負の数をふくむ場合にも成り立ちます。

問5  $\{(+3)+(-4)\}+(-5)$ ,  $(+3)+\{(-4)+(-5)\}$ をそれぞれ計算し、結果が等しいことを確かめなさい。

加法の交換法則や結合法則が使えることで、何がよいのか。

※ 順番を入れ替えて計算できることは、とても便利なこと。

※ 結合法則が使えるということは、どこから、計算をしても良い。